

令和2年中に発生した交通事故件数は414件で、そのうち136件が自転車関連事故となっています。セーフコミュニティの取り組みを開始した平成23年と比較すると、交通事故件数は730件から316件減(約43・3%)、自転車関連事故件数についても238件から102件減(約42・9%)となっており、発生件数は大きく減少しています。

また、自転車関連事故の統計データを場所別にみると、136件中、交差点やその付近の事故件数が78件あり、約6割と他の場所に比べて多くなっています。

自転車は幼児から高齢者まで幅広い世代が利用する便利な乗り物です。通勤や通学など忙しい時間帯などは交通安全に対する意識が低下しがちです。スマートフォン、携帯電話



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

## 交通ルール・マナーを守ろう

▼問合せ 市民協働課

を使いながらの運転、傘さし運転やイヤホンやヘッドホンで音楽を聴きながらの運転はやめましょう。交差点ではしっかりと一時停止をして、青信号でも左右の確認を怠らずにゆとりを持った自転車利用をお願いします。



▲音楽を聴きながらの運転

▲スマートフォン、携帯電話を使いながらの運転

▲傘さし運転

## 交通安全ポイントマップの更新中

交通安全ポイントマップは、警察統計データから把握した自転車関連事故の発生個所、松原交通株式会社や近鉄自動車学校の市内で活動されるプロドライバーから見た危険個所、中学生や地域の人が危険だと感じた場所などをポイントとして見える化したものです。

前回の作成時から市内の道路環境も

大きく変化しており、事故の発生個所にも変化が見られることから、交通安全対策委員会で検討し、更新することになりました。

自転車関連事故は交差点で多く発生していますので、皆さんも交通安全ポイントマップを参考に自宅の周りに危険な場所がないか確認し、事故やけがの予防対策をしましょう。



◀前回の交通安全ポイントマップ

## 自殺予防啓発ポスターを作成しました

セーフコミュニティ自殺予防対策委員会の活動として、相談機関の周知を目的に、ポスターを作成しました。

1人で悩みを抱え込まず、専門機関に相談してください。

詳細は、市ホームページをご覧ください。

▶問合せ 人権交流室

